平成 31 年度　東京都内湾水生生物調査　6 月鳥類調査　速報

●実施状況

令和元年 6 月 19 日に鳥類調査を実施した。天候は晴れで、気温 24.7～30.0℃、南の風が 3.1～6.0m/sec であった。調査当日は大潮で、干潮が 12 時 10 分（18cm）、満潮は 19 時 02 分（190cm）であった（気象庁のデータ）。各地点の概況を下表に示す。

	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚
作業時刻	9:56-11:01	11:35-12:26	13:52-14:50
天候	晴	晴	晴
気温(℃)	24.7	26.6	30.0
風向	南	南	南
風速（m/sec）	3.1	3.4	6.0
備考	海浜公園側は観光船が通過。海上ではオリンピック関連の整備作業がされていた。	採貝の漁船一隻とゴムボート一隻が干潟に停泊していた。	南風が強く吹いており、波が高かった。

●主な出現種等

	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚
数が多かった鳥類上位 2 種	カワウ(999 羽) アオサギ(22 羽)	コアジサシ(100 羽) カワウ(68 羽)	カワウ(636 羽) ウミネコ(312 羽)
その他の鳥類	カルガモ、サギ類（コサギ等）、コチドリ、ウミネコ、ハクセキレイ	カルガモ、サギ類（コサギ等）、コチドリ、シロチドリ、ウミネコ、カワセミ、ハクセキレイ	カルガモ、ホシハジロ、スズガモ、サギ類（コサギ等）、ミヤコドリ、チュウシャクシギ、オオセグロカモメ、コアジサシ
備考	・重要種として 4 種を確認（ダイサギ、チュウサギ、コサギ、コチドリ）。 ・カワウの巣数は第六台場 199 巣、鳥の島 8 巣。営巣地や岩礁で幼鳥を確認。 ・サギ類の巣は確認できなかった。アオサギは幼鳥を確認。 ・コサギは 3 羽のみで、例年に比べ著しく少ない。 ・護岸でコチドリが採餌。	・重要種として 7 種を確認（ササゴイ、ダイサギ、コサギ、コチドリ、シロチドリ、コアジサシ、カワセミ）。 ・干潟でカワウ、ウミネコが休息。 ・干潟にコアジサシが多く、求愛給餌を確認。浅瀬での採餌、餌運びも観察された。 ・護岸でコチドリが採餌。	・重要種として 7 種を確認(スズガモ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、ミヤコドリ、チュウシャクシギ、コアジサシ)。 ・汀線付近の浅瀬でサギ類が採餌。 ・干潟でカワウ、ウミネコが休息。ミヤコドリ、チュウシャクシギが採餌。 ・沖合をコアジサシ、ウミネコ、カワウが飛翔。

●出現種と個体数

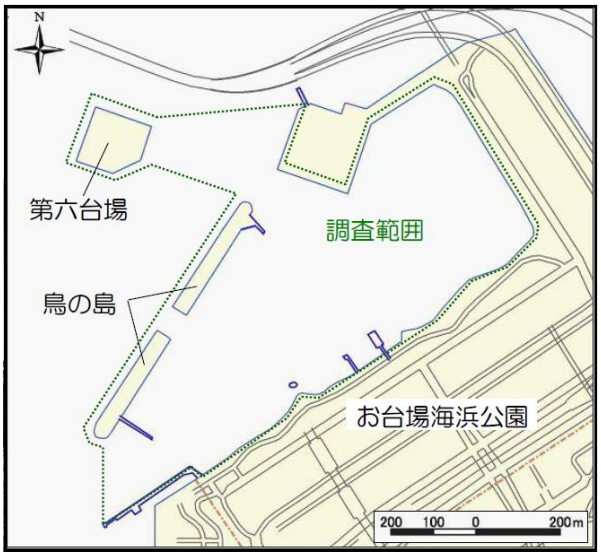
No.	目	科	種名	5月								6月								重要種 選定基準			
				お台場海浜公園				森ヶ崎の鼻	葛西人工渚			お台場海浜公園				森ヶ崎の鼻	葛西人工渚			文化財[*1]保護法	種の[*2]保存法	環境省[*3]RL 2019 鳥類	東京都[*4]RL 2010 (区)
				第六台場	鳥の島	公園側	合計		範囲内	沖合	合計	第六台場	鳥の島	公園側	合計		範囲内	沖合	合計				
1	カモ	カモ	カルガモ	2	5		7	1	7		7	1	1		2	3	9		9				
2			ホシハジロ														3		3				
3			スズガモ						12		12						10		10				留
4	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ						4		4												留
5	カツオドリ	ウ	カワウ	685	178	3	866	103	214	122	336	697	297	5	999	68	624	12	636				
6	ペリカン	サギ	ゴイサギ	2			2																
7			ササゴイ													1							CR
8			アオサギ	22	9		31	3	12		12	12	10		22	6	8		8				
9			ダイサギ	2			2	2	8		8	2			2	2	30		30				VU
10			チュウサギ									1			1		1		1			NT	VU
11			コサギ	17			17	1	6		6	3			3	2	7		7				VU
12	チドリ	チドリ	ダイゼン						2		2												VU
13			コチドリ					2	2		2		1		1	1							VU
14			シロチドリ													3						VU	VU
15		ミヤコドリ	ミヤコドリ						25		25						19		19				EN
16		シギ	チュウシャクシギ						3		3						1		1				VU
17			ホウロクシギ						2		2										国際	VU	CR
18			アオアシシギ						4		4												NT
19			キアシシギ		1	2	3	4	23		23												VU
20			ソリハシシギ						3		3												VU
21			イソシギ					1															VU
22			キョウジョシギ	5	2	1	8	14															VU
23		カモメ	ユリカモメ						3		3												
24			ウミネコ					4	82	2	84			3	3	2	306	6	312				
25			オオセグロカモメ														15		15				
26			コアジサシ			2	2	395		6	6					100		6	6			VU	EN
27	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ													1							VU
28	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ	1			1	2	2		2			1	1	3							
計 7目10科28種				8 種	5 種	4 種	10 種	12 種	18 種	3 種	19 種	6 種	4 種	3 種	9 種	12 種	12 種	3 種	13 種	0 種	1 種	4 種	19 種

※種の分類・配列は「日本鳥類目録　改訂第7版」（日本鳥学会,2012)に従った。
A:大型カモメに分類されるセグロカモメが確認されているので「大型カモメ」は確認種数には数えない。
*1文化財保護法:
*2種の保存法: 国際:国際希少野生動植物
*3環境省レッドリスト: VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧
参照：http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_f.html
環境省自然環境局野生生物課. 2019年. 環境省第4次レッドリスト.
*4東京都レッドリスト2010: CR:絶滅危惧ⅠA類、EN:絶滅危惧ⅠB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、留:留意種
東京都環境局自然環境部. 2010年. 東京都の保護上重要な野生生物種（本土部）～東京都レッドリスト～2010年版.

＜お台場海浜公園＞

〇調査地点の状況

第六台場ではカワウの営巣が見られた。



〇出現種（カワウ）

第六台場で 199 巣、鳥の島で 8 巣、合計 207 巣が確認された。巣にヒナが見られたほか、幼鳥が営巣地や周辺の岩礁で観察された。

鳥の島で休むカワウの群れ

カワウの成鳥とヒナ

〇出現種（アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ）

第六台場でサギ類の巣は確認できなかった。アオサギは幼鳥が確認されたが、コサギとダイサギについては繁殖に関わる情報は得られず、今期のサギ類の繁殖はほぼ終了と推定された。平成 30 年 6 月調査で 204 羽を記録したコサギは、3 羽のみであった。チュウサギは上空を飛翔する個体が確認され、繁殖行動は見られていない。

アオサギ幼鳥

チュウサギ

〇出現種（コチドリ）

鳥の島の護岸で採餌していた。東京都レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類（VU）に指定されている。主に夏鳥として河原や水田等にも渡来する。写真からは分かりにくいが、目の周囲が黄色く縁取られているのが特徴。

コチドリ

＜森ヶ崎の鼻＞

○調査地点の状況

干潟が広く干出していた。

○出現種（コアジサシ）

干潟に群れで降りていたほか、水中に飛び込んで採餌する個体、魚をくわえて運ぶ個体も確認された。干潟では求愛給餌など繁殖に関わる行動が観察された。森ヶ崎水再生センター屋上の人工営巣地では 6 月 23 日の時点で成鳥約 50 羽、推定営巣数 170 巣、ヒナ推定 20 羽が NPO 法人リトルターン・プロジェクトによって確認されている。

https://littletern.hatenablog.com/entry/2019/06/25/221228

獲物を狙う

求愛給餌

○出現種（ササゴイ）

水上を飛び、モノレールの線路をくぐって北西に飛び去った。東京都レッドリストで絶滅危惧ＩＡ 類（CR）に指定されている。主に夏鳥として河川や湖沼等に渡来する。森ヶ崎の鼻ではこれまでの調査で 1～2 羽が時折観察されている。

ササゴイ

○干潟利用状況

干潟ではカワウの群れのほか、ウミネコ、カルガモ、シロチドリが見られた。汀線付近の浅瀬ではカワウやアオサギ、コサギの採餌が観察された。

アオサギ

干潟上のカルガモ（手前）とカワウ（奥）

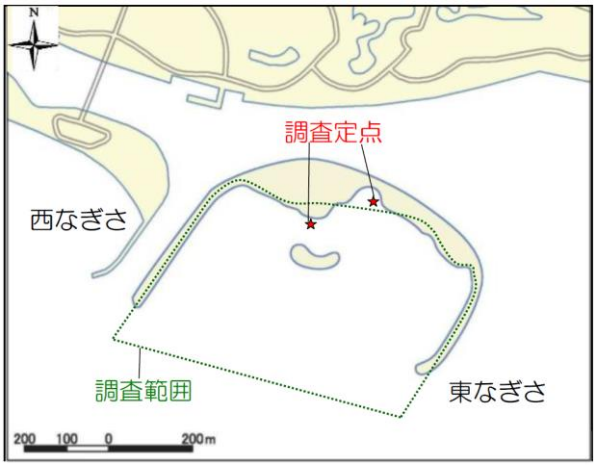
シロチドリ

＜葛西人工渚＞

○調査地点の状況

干潟が干出し、沖合の三枚洲も干出していた。

西側の地点より南西方向を見る



○出現種（ホシハジロ）

干潟で♂1 羽♀2 羽が確認された。葛西臨海公園鳥類園では普通に越冬するが、春以降は繁殖地に渡去する。観察された 3 羽のうちメス 1 羽は左翼の風切羽が大部分抜け落ちた状態で、飛び立つことができなかった。

ホシハジロ　メス

風切羽が抜けている

○出現種（チュウシャクシギ）

干潟で 1 羽が確認された。東京都レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類（VU）に指定されている。主に旅鳥として干潟や水田、岩礁海岸などに渡来するが、6 月に見られることは少ない。今回確認された個体は左翼に異常があり、飛び立っても短距離で降りていた。

チュウシャクシギ

○干潟利用状況

干潟や汀線付近でカワウとウミネコが群れで休息していた。また、汀線付近の浅瀬でダイサギやコサギ、アオサギが採餌、干潟でミヤコドリの採餌が観察された。

ウミネコ

カワウ

＜その他＞

〇ウミネコの繁殖

平成 27 年度 6 月の調査で運河の構造物上でウミネコの繁殖が確認された。今回の調査では成鳥 39 羽、少なくとも 11 羽のヒナが確認された。巣は 12 カ所と推定されたが直接観察することができないため、正確な営巣数は不明である。

構造物上のウミネコ成鳥（左）とヒナ（右２羽）

＜トピックス＞

－ ササゴイ －

ササゴイは東京都レッドリストで絶滅危惧ＩＡ 類（CR）に指定されている希少種である。6 月調査では、森ヶ崎の鼻において水上を飛ぶ 1 羽と、上記のウミネコ調査中に水上を飛ぶ 1 羽が観察された。5 月調査ではお台場海浜公園から森ヶ崎の鼻への移動途中に、護岸で休む 1 羽が観察された（下写真）。海岸部にはごく少数が生息しているが、繁殖は報告されていない。

５月調査で観察されたササゴイ（調査地外）